

希望を現実にするまちづくり

美里町長 原田信次

町民の皆様におかれましては、健やかに令和2年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より町政推進にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、世界は国際協調から自国優先へ傾き、先行きが大変不透明な時代にあります。日本全体も美里町も、超少子高齢社会に入り、子ども



迎春

が減って高齢者が増え働き手が減る、社会保障費は増え税収は減る社会が見込まれています。行政はどんな状況にあっても、住んでいる皆さんが安心して、心豊かに暮らせる地域にする責任があります。そのためには、必要な施策や事業を行うための収入を増やし、支出を出来るだけ減らす知恵と行動が必要です。お陰様で寄居スマートインターチェンジは、下り線が開通しました。14haの産業団地に3社の企業が進出し、雇用と税収増が見込まれます。さらに、上りの開通と企業誘致を進め、税収を増やす努力をします。支出については、健康づくりを強力に進めます。ミムリン健康ポイント事業の参加者は人口の23%、2,600名近くに達し、各種の運動教室なども進め、医療・介護費の増加を抑えていきます。更新時期を迎えている建物や水道管などの施設は、統廃合と長寿命化を進め、将来負担を出来るだけ減らします。さらに、増え続ける耕作放棄地、荒れ放題の里山、空き家・空き地を何とかしなければなりません。所有者が無理なら、町内外の希望者に関わってもらう知恵が必要です。

その一つとして、美里町に訪れてもらう、一度ではなく、毎月・毎週でも来たくなる仕掛け、町の農産物や加工品を買って帰りたくなる仕掛け、遊休農地や里山を楽しく活用する仕掛けなどが必要です。また、町に訪れた人が休憩でき、農業等に携わる拠点となる機能も必要だと考えています。この施設と仕組みは、美里町の将来に希望が持てるものでなければなりません。子育て世代の遊べる場所や自習スペースも強い要望があります。さらに、民間施設誘致と合わせた相乗効果を期待することも可能です。この施設と仕組みの建設は、スマートインターチェンジと産業団地が完成し、インフラの統廃合に舵を切り、税収増の見込める今なら、整備が可能であり、これを逃したら出来ないと考えています。美里町にとって、地域で経済が回るエンジンは、必ず必要です。現在、そのための審議会を立ち上げ、議論を進めています。令和が素晴らしい時代となるよう、希望と期待を現実のものとするべく全力を尽くします。今年一年が、町民の皆様にとって幸多き年となることを祈念し、新年のご挨拶といたします。

未来への

確かな展望

美里町議会議長

大島輝雄



新年明けましておめでとうございます。町民の皆様方におかれましては、希望に満ちた新春をご健勝にてお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。日頃より、議会活動に対しまして格別なるご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。昨年を振り返りますと、さまざまな出来事がありました。まずは、皇位継承により5月から令和の時代が幕を開けました。9月には日本で初となるラグビーワールドカップが開催され、手に汗握り応援した代表戦では一体感と感動を頂きました。そして、忘れてはならない記憶として台風19号の災害です。美里町においても大きな爪痕を残した記録的豪雨では、各地で多くのかたの尊い命が失われました。改めて、被災されました皆様に心か

らお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興と平穏な暮らしに戻れますようお祈りしております。さて、本年は、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。埼玉県内でもサッカー、バスケットボール、ゴルフ、シューティング（射撃）の4種目が予定され、また、関連イベントとしての聖火リレーやキャンプ地・ホストタウンとして多くのかたが訪れます。身近に感じることのできる世界観を、「未来への確かな展望」を切り拓くチャンスであると信じ、美里町の優良農産品や定住促進等のPR、異文化交流や地域の魅力を再発見するための確実なる一歩を踏み出す大切な一年としなければなりません。さらに、町政が求める未来の基本は、町民が安心して安全に暮らすことができるまちづくりであると感じています。多様化する住民ニーズや諸課題を、皆様と手を取り合って解決していかなければなりません。美里町議会としても、超高齢化と少子化が進行する現実から向き合い、町民の幸せな生活を守るため、住民代表であるその役割と責任をしっかりと自覚し皆様のご期待に応えるよう全力を傾注してまいります。どうぞ皆さまのより一層のご支援、ご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。結びにあたり、新しい年が皆さまにとってすばらしい一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

町長が選んだ

令和元年（平成31年）

町の5大ニュース

- 1 寄居スマートインターチェンジ下り線が開通！（3月）
- 2 美里産業団地の造成が完了！ 3社の企業への引き渡し実施（6月）
- 3 災害時の拠点施設と備蓄品の保管を目的に役場庁舎北側に「防災倉庫」が完成（3月）
- 4 健康長寿優秀市町村表彰式で埼玉県知事から優秀賞を受賞（7月）
- 5 ICT^{※1} & SIB^{※2}の活用による健康長寿化などを目的とした5市町飛び地連携型大規模ヘルスケア事業を開始（4月）



※1 ICT：情報通信技術
 ※2 SIB：民間の活力を社会的課題の解決に活用するため、民間資金を呼び込む成果報酬型委託事業